【表紙】

「障害者にやさしいICT機器等の普及に関する勉強会」資料

令和３年9月　厚生労働省障害保健福祉部

【1ページ目】

障害者自立支援機器等開発促進事業の概要（令和3年度）

事業目的

　障害者の自立や社会参加を支援する機器の開発は、マーケットが小さく事業化や実用的な製品化が進んでいない状況にある。障害者の機器開発においては、障害者のニーズと開発者のシーズのマッチングが重要であり、開発企業が障害当事者と連携して開発する取組に対して助成を行うことで、障害者にとって使いやすく適切な価格の機器の実用的な製品化を促進する。（H22～）

事業内容

（１） 障害者の自立支援機器の開発（実用的な支援機器の製品化）に対する助成

　　　①テーマ設定型事業、②製品種目特定型事業

（２） シーズ・ニーズマッチング強化事業

実施主体

民間団体（公募）

補助率

（１）は、中小企業２／３（※（１）-②は初年度のみ10／10） 、大企業・公益法人１／２　。　（２）は、定額（10／10相当）

ニーズ把握から製品販売までのイメージ図​

「シーズとニーズのマッチング​」→「開発～試作～実証実験～製品化​」→「製品の普及」

「シーズとニーズのマッチング​」

（ユーザー・支援者​（ニーズ）​と開発・研究者​（シーズ）​の間に両向き矢印があります。）

ユーザー・支援者​（ニーズ）：障害者、家族​、事業所職員等​…支援機器に関するニーズ、生活における困りごと等を開発側に伝える。​

開発・研究者​（シーズ）​：開発企業、研究者等​…障害当事者との意見交換にてニーズを把握、開発の着想を得る。

（２）シーズ・ニーズマッチング強化事業​

「開発～試作～実証実験～製品化​」

ニーズを的確に捉えた​支援機器の開発着手​

試作○号機​→試作○号機​→試作○号機​（それぞれの試作とユーザー・支援者​の間に「モニター評価​」と両向き矢印があります。車いすの形が試作をするごとに変わっています）

（１）実用的な支援機器の開発に要する費用の助成​

※研究段階を終え基本設計はできているが、試作機の製作までには至っていないものが対象​

「製品の普及」

実用的な支援機器の製品化→普及​

【２ページ目】

障害者自立支援機器等開発促進事業　令和４年度概算要求

​（令和３年度予算額：１．２億円⇒令和４年度概算要求額：１．５億円​）

「障害者自立支援機器等開発促進​事業​」

ニーズ発掘​→事業モデル​⇔開発着手​→創業​

（ニーズ発掘​→事業モデル​⇔開発着手の下に「新規事業」、事業モデル​⇔開発着手​→創業​の下に「既存事業」があります。）

「新規事業」

（３）自立支援機器イノベーション人材育成事業​

【事業内容】​

ワークショップを通して下記を実施する。​

・本質的ニーズを抽出し、明確化​できる人材を育成する​

・障害者の課題を踏まえ、解決策​を導き出せる手法を習得する​

​ニーズの明確化:（情報収集・現場観察・課題抽出など）​

製品の概要検討:（コンセプトの創造、市場分析、​ニーズとコンセプトのマッチング）​

​「既存事業​」

（１）障害者自立支援機器等開発促進事業​

・テーマ設定型

・製品種目特定型​

（「新規事業」から（１）にむかって矢印。）開発事業に応募できるコンセプトが創出できた企業等に令和5年度、優先枠を設ける予定​

（２）ニーズ・シーズマッチング強化事業（交流会拡充）​

・開発中（試作機）の支援機器の出展等を通じ、ニーズに​則した改良・改善の情報収集や新たなニーズの収集等​

※都市開催３箇所に加えて、地域開催２箇所追加​

（「新規事業」から（２）にむかって矢印。）ニーズ・シーズマッチング交流会にも参加して、ニーズの探索・ブラッシュアップ等を行う​

※令和４年度からシーズ・ニーズマッチング強化事業の名称変更と拡充及び（３）の新規事業創設に向け予算要求中。​

【３ページ目】

シーズ・ニーズマッチング強化事業

写真

障害者自立支援機器

シーズ・ニーズマッチング交流会2021のチラシ

【開催概要】

* 支援機器に係る「ニーズ」と「シーズ」のマッチングを目的とした交流
* 特別講演をはじめ、事例報告や成果報告
* 出展企業等とオンラインを活用した意見交換や交流の推進

チラシ内容

みんなで考えよう！
作る人と使う人の交流会

Web開催

令和3年10月1日金曜日～令和4年１月31日月曜日まで

午前10時から午後5時

テクノエイド協会　Web交流プラットフォーム

イベント内容

Web上による開発企業及び支援機器の紹介動画の発信、掲示板やオンラインによる意見交換の実施

山口開催は新型コロナウイルスの急激な感染拡大により中止

東京開催

令和３年12月7日火曜日・8日水曜日

午前9時から午後5時

東京都立産業貿易センター浜松町菅　２階展示室

イベント内容

支援機器の展示・相談、デモンストレーション、意見交換の実施

併催イベント内容　※会場およびオンラインにて配信予定です。

・基調講演

・福祉機器の利用事例とニーズの発信

・福祉機器の開発状況について

・令和３年度障害者自立支援機器等開発促進事業成果報告

・障害分野におけるロボット技術の活用に関する研究報告

・ワークショップ　他

対象者

ニーズ側：障害者、家族、在宅・施設等の介護職員、医療・福祉従事者　等

シーズ側：開発メーカー、産業振興団体、行政、新規参入を検討する企業・研究者、大学関係者、研究機関　等

最下段にゴロマーク　公益財団法人テクノエイド協会　厚生労働省

本事業は「令和3年度シーズ・ニーズマッチング教科事業」の一環で行うものです。